



かけはし

243号

2026年1月

ご自由にお持ちください

特集

リハビリ通信

新年を迎えて

臨床神経心理士について

初春に
今年こそはと
決めた標^{めくらぎょう}
きつと
ウ・マ・く・い・くー
そんな
ダジャレで
勢いつけて
いざ、出馬!!



志

新年を迎えて

済生会滋賀県病院 院長 三木 恒治



新年あけましておめでとうございます。地域の皆さま、ならびに患者さまにおかれましては、健やかな新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また日頃より、当院の運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずご報告ですが、済生会滋賀県病院が担当となり、第78回済生会学会・令和7年度済生会総会を、19年ぶりに滋賀県にて開催いたします。「働かん方改革!?-医療生産性の効率化を求めて-」をテーマに掲げ、全国の済生会職員が一堂に会し、社会福祉法人恩賜財団済生会の「救療済生」の精神のもと、効率的かつ質の高い医療提供のための取り組みを共有します。特別講演には2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された山中伸弥先生、基調講演には国の「AIホスピタル」プロジェクトリーダーとして先進的医療の推進にも取り組んでこられた中村祐輔先生をお迎えいたします。この貴重な機会を通じて得られた全国の先進的な取り組みを当院の医療現場にも活かし、地域の皆さまへより良い医療を提供してまいります。

昨年は、医師の時間外労働上限規制が本格施行され、医療現場における働き方改革が強く求められる時代となりました。タスクシフトによる業務分担の最適化など、医療の効率化が喫緊の課題となる中、当院では医療DX(デジタルトランスフォーメーション)による業務効率化を図るために、DX推進室を新たに設置し、近年目覚ましい進化を遂げているAI技術を活用した業務の効率化や診療支援体制の構築に取り組みしました。本年もこうした革新的な技術を積極的に活用しながら、地域の皆さまに安心で安全な医療をお届けできるよう努めてまいります。

さて、令和8年は当院にとって新たな展開を目指す年となります。長年の懸案事項であった新外来棟の建設が始まります。外来化学療法センター、内視鏡センターなど、外来診療機能のさらなる拡充、患者サポートセンターの一層の充実、健診センターのワンストップ化など、高度な医療をより効率的に提

供できる体制へと大きく進化いたします。長年の課題でありました待ち時間の短縮や駐車場の問題も改善され、より快適にご利用いただける診療環境が整います。こうした新しい環境のもと、私たちは更なる医療の質の向上を目指し、尽力してまいります。

一方がん治療においては、引き続き当院のコンセプトである「低侵襲治療」を推進し、手術支援ロボットを用いた身体に負担の少ない手術を実施いたします。また、がんの遺伝子情報に基づく「個別化治療」の充実にも取り組み、「がん遺伝子パネル検査」や「遺伝性腫瘍相談外来」の体制整備を進めてまいります。

また急性期医療においては、「救急医療の要」としての責務を果たすべく、救急患者の受け入れ体制を十分に確保し、ドクターヘリやドクターカーによる迅速な救命活動を継続してまいります。重症患者への手厚い診療を提供するため、集中治療室(ICU、HCU、SCU)の適切な運用にも努め、今年も厚生労働省の救命救急センター充実段階評価において最上位となる「S評価」を維持できるように努めてまいります。

このような高度急性期医療を持続的に提供していくためには、地域全体での医療機能の分担と連携が不可欠です。当院では重症患者さんの迅速な受け入れ体制を確保するため、容態が安定された方には、連携医療機関での治療継続をお願いする「下り搬送」を推進しております。これは、地域全体で患者さんを支える医療体制の構築を目指すものであり、これにより当院では重症患者さんの受け入れ枠を確保でき、患者さんご自身も最適な医療環境で療養していただくことが可能となります。

本年は当院にとって大きな飛躍の年となります。新外来棟の増設をとおり地域の皆さまの健康を守り安心安全の医療を提供してまいります。職員一同、これまで以上に研鑽を重ねてまいりますので、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶にかえさせていただきます。

新外来棟の

最新パース図大公開！



こちらは2027年中旬に完成予定の新外来棟のエントランスホールのパース図です。エントランスは明るく開放的な空間となっており、十分な広さを確保した設計となっております。来院される皆さまをゆったりとお迎えし、快適にお過ごしいただける環境を整えてまいります。また、災害時には仮設ベッド100床が設置可能な構造となっており、大規模災害発生時には災害拠点病院としての役割を担います。



リハビリ通信

臨床神経心理士について

リハビリテーション技術科 言語聴覚士 上村 良彦

はじめに

臨床神経心理士は、脳損傷による認知機能や行動の問題を抱える方々とその家族を支援し、生活の質の向上に貢献する役割を担っています。この資格は、日本神経心理学会と日本高次脳機能学会が共同で認定する資格で2019年に創設されました。2022年には第1回の資格認定試験が行われ、資格を持つ臨床神経心理士としての活動が始まりました。

この資格を取得するには、医師、公認心理師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のいずれかの資格を有することが条件となっており、神経心理学^{※1}や高次脳機能障害学^{※2}に関する専門知識と技術を持っていることが必要となります。また、資格は更新制であり、常に一定水準以上の知識と技術を保つことが求められます。

※1) 脳の損傷を引き起こす病態(脳血管障害、神経変性疾患、脳挫傷、脳腫瘍、てんかん、認知症など)における認知・行動の変化と脳の関係を観察し、それによって脳の特定の領域が、どのような役割を担っているのかを明らかにして診断や治療に繋げる学問です。

※2) 脳の損傷によって生じる記憶障害、注意障害、言語障害、遂行機能障害などの認知機能や行動の問題を研究し、その診断・評価・リハビリテーション・社会支援に結びつける学問です。

臨床神経心理士の役割

具体的には、以下の3つの役割があります。

①正確な評価と診断の補助

脳損傷が認知機能や感情・行動にどのような影響を与えているのかについて、神経心理学的検査を用いて客観的に評価します。

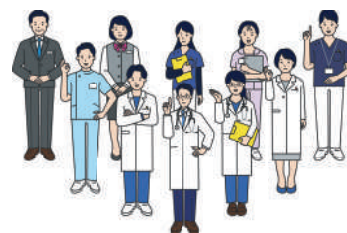


②リハビリテーションと治療計画の立案・実行

評価結果に基づき、個人に合わせた治療計画やリハビリテーションプログラムを立案し、実施します。また、患者さん自身や家族が現状を理解し、日常および社会生活に適応できるように具体的な対処法や環境調整の助言を行います。

③多職種連携と社会への啓発

他の専門職と連携し、チーム医療の中で専門的な視点を提供します。また、高次脳機能障害など「見えない障害」に対する社会の理解を深め、当事者が暮らしやすい環境づくりに貢献することも重要な役割です。



資格や活動が始まってからの日も浅く、現在は手探りで活動ではありますが、神経心理学の知識と技術を用いて多角的な視点でサポートできることを目指しています。

京都芸術大学の学生が手がけた看護師キャラクター誕生!

新人看護師



つぼみちゃん

どーきくん

中堅看護師



めぶくさん

ベテラン看護師

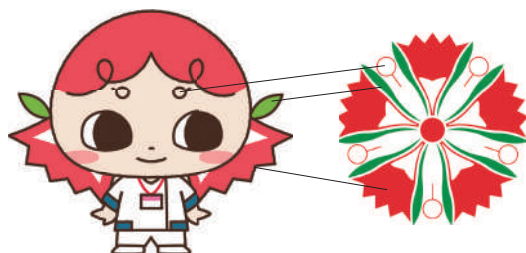


なでしこさん

このたび京都芸術大学の学生さんに看護師のイメージキャラクターを制作していただきました。制作を担当したのは同大学の情報デザイン学科イラストレーションコースの横井優さん(2回生)と宮本晏妃さん(4回生)です。約半年をかけて素晴らしいキャラクターを完成させてくださいました。

お二人が制作してくださったキャラクターは、新人看護師の「つぼみちゃん」と「どーきくん」、中堅看護師の「めぶくさん」、ベテラン看護師の「なでしこさん」の4種類です。それぞれに喜怒哀楽の表情などバリエーションがあり、全部で30パターンにも上ります。

原案を担当した横井さんは、「特にこだわったのは髪型です。済生会のなでしこ紋章をモチーフに済生会のキャラクターであることを表現しました。新人からベテランへと成長するにつれて髪が花開き、紋章の色味に近づいていくデザインになっています」と説明しました。



済生会のなでしこ紋章がモチーフ



前列左から作者の宮本晏妃さん、横井優さん
後列左から教員の箭内新一先生、由井武人先生

指導教員の箭内新一先生と由井武人先生は、「芸術家1人ではできることが限られています。今回は現場の看護師の方々と何度もやり取りを重ねられたことで、このクオリティが実現できました。また眉毛に済生会の紋章の一部を取り入れるなど、若い学生ならではの発想で大人にはないアイデアが生まれたことも印象的でした」と振り返りました。

これらのキャラクターは、今後看護部の求人パンフレットや看護部 Web サイトなどに掲載される予定です。1月には看護師のインターンシップが開催されますので、早速そこでもお披露目できればと考えています。院内でこのキャラクターを見かけた際には、ぜひご注目いただきたいと思います。



ご意見にお答えします

当院では、ご意見箱を通してみなさんの声を聞き、苦情などの全体を把握するとともに、今後の事業改善に活かしています。

【ご意見】

外来にレストランがないので復活してほしい。

【回答】

現在、2か所の食事スペースなど限られたスペースしかなくご迷惑をおかけしております。

外来の食事スペースは、1階のエントランス通路、2階の整形外科横に加え、2階のローソン前にも増設予定です。

新外来棟建設後は、新外来棟側にお食事処を設ける計画となっております。

しばらくはご不便をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

News & Topics

駐車場のシステム変更と料金改定のお知らせ

12月17日(水)より駐車場システムおよび駐車料金が改訂されました。ご利用の皆さまにはご負担とご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆システム変更

カメラにより車両ナンバーと入出場時間の確認をしております



ご精算の際は車両ナンバー4桁が必要です。事前にご確認ください

入出場時、
車両ナンバーを
確認しています



駐車券はないので
入場時間を
ご確認ください



割引は院内にてを
QRサービス券
お受け取りください



◆料金改定(※入庫後30分は無料)

利用区分	現行料金体系	新料金体系
外来	無料	100円/日
見舞・入院	300円/60分、最大600円/日	100円/60分、最大800円/日
一般	600円/60分	600円/60分

済生会滋賀県病院のがん医療のすべてがわかる！ 済生会がんセンター開設10周年記念講演のお知らせ

おかげさまで当院のがんセンターは開設10周年を迎えることとなりました。この記念すべき節目に市民公開講座を開催することが決定しました。講演では10年間の当院の取り組みを振り返りながら最新のがん医療についてわかりやすくお話しします。

〈日時〉2026年1月24日(土) 14:00～16:10
〈会場〉済生会滋賀県病院 5階 なでしこホール
〈担当〉済生会滋賀県病院 経営企画課
〈電話〉077-552-1221 (代表)

参加無料・申込不要で、どなたでもご参加いただけますので、お気軽に足をお運びください。

済生会滋賀県病院 市民公開講座
済生会がんセンター開設10周年記念講演
がん医療の進歩と10年の軌跡
2026.01.24 14:00～16:10
会場：済生会滋賀県病院 5階 (滋賀県東大井町二丁目4番1号)
参加費 無料 (申込不要)
おかげさまで、済生会滋賀県病院がんセンターは開設10周年を迎えることができました。この節目に、これまでの取り組みや医療技術の進化を振り返りながら、未来への展望をお話しします。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご来場ください。
プログラム
開会挨拶 副院長 保田 宏明
講演① 健診から始まる つながる医療～健診センターの役割と歩み～
講演② 消化器がんにおける内視鏡診断と治療
講演③ 当院の外科治療の進歩～開腹手術、腹腔鏡手術、そしてロボット手術へ～
講演④ 進歩する放射線治療～当院の最新治療と地域医療への貢献～
休憩
講演⑤ がん薬物療法について～治療と副作用対策の進歩とこれから～
講演⑥ がん治療と緩和ケア～急性期病院での緩和ケア～
講演⑦ 多職種で患者さんを守るために～看護が見つめた10年～
質疑応答 皆さまご質問にお答えします
閉会挨拶 診療部長 橋本 和実
☎ 077-552-1221 (代)
担当：済生会滋賀県病院 経営企画課 (受付時間：平日8:30～17:00)
〒520-3046 滋賀県東大井町二丁目4番1号

市民公開講座「心臓のSOSに気づこう」開催のお知らせ ～心不全のしくみ・薬の知識・毎日の気づき・体を動かす力～

2026年3月28日(土)、心不全をテーマとした市民公開講座を開催します。心不全の基礎知識から、お薬のこと、自宅でできるセルフモニタリングやフレイル予防のための運動など、日常生活に役立つ情報を専門職が丁寧にお話しします。

〈日時〉2026年3月28日(土) 10:00～11:30
〈会場〉済生会滋賀県病院 5階 なでしこホール
〈担当〉心不全療養指導チーム
〈電話〉077-552-1221 (代表)

参加無料・申込不要で、どなたでもご参加いただけます。ご家族やご友人とお誘い合わせのうえ、ぜひお気軽にお越しください。

済生会滋賀県病院市民公開講座
心臓のSOSに気づこう
～心不全のしくみ・薬の知識・毎日の気づき・体を動かす力～
日時 2026.03.28 10:00～11:30
会場 済生会滋賀県病院 5階 (滋賀県東大井町二丁目4番1号)
参加費 無料 (申込不要)
プログラム (75分) 5分休憩×3回あります
座長 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)
1. 開演挨拶 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)
2. 心不全概論 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)
3. お薬と上手に付き合うためのお話 市本 香名 (薬剤師 薬剤師)
4. 心不全セルフモニタリングで毎日を安心 坂口 聖乃美 (看護師 看護士)
5. フレイル予防とリハビリ～フレイルってなんだろう?～ 内村 賢博 (リハビリテーション技術科 主任理学療法士)
6. 閉演挨拶 倉田 博之 (循環器内科 主任部長)
済生会滋賀県病院 庶務課 〒520-3046 滋賀県東大井町二丁目4番1号
TEL: 077-552-1221 (受付時間: 平日8:30～17:00)

当院では無料低額診療事業を実施しています

詳細は当院ホームページをご確認ください。



▲HPはこちら



まちの診療所紹介

かかりつけ医をもちましょう

「かかりつけ医」は患者さんやご家族が、身近に日常的な治療及び健康管理について相談できるお医者さんです。体調の変化で気になることを気軽に相談できる関係性を築くことで、病気の早期発見や予防につながります。自宅や職場の近くにかかりつけ医をもっていただくことをお勧めします。



滋賀県守山市梅田町6-2
フレンドタウン守山2F
TEL. 077-514-8190

【診療科目】

小児科・アレルギー科

【休診日】

木曜日午後・土曜日午後・日曜日・祝日



▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
一般外来 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
予防接種・健診 14:00~16:00	○	○	○	/	○	/	/
無熱外来 16:00~17:30	○	○	○	/	○	/	/
発熱外来 17:30~19:00	○	○	○	/	○	/	/

守山市

ぱんだキッズファミリークリニック

院長 底田 辰之 先生

～2025年12月1日(月)開院～

この度、フレンドタウン守山2階で、小児科・ファミリークリニックを開院することになりました。

当院では、「必要最小限の検査と治療」を基本的な診療方針とさせていただきます。特に小さなお子さんに痛い検査をすること、たくさんのお薬をすることは避けたいと考えています。もちろん、どうしても避けがたい検査やお薬もありますので、保護者の方々に十分に説明をしてご同意をいただきながら診療できればと考えています。

また、当院ではかぜ診療やお肌のトラブル、便秘、アレルギー、発達相談など一般小児科を軸として、高校生、大学生、専門学生など若年成人や保護者の方々の診療もさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



湖南市

平松耳鼻咽喉科

院長 山本 大喜 先生

～2025年11月7日(金)開院～

当院は、地域の皆様の健康を支える「耳鼻咽喉科のかかりつけ医」として、真摯に診療に取り組めます。

耳・鼻・のどの症状は日常生活の質に大きく影響します。当院では丁寧な問診と診察を行い、最新の知見を取り入れた治療で、皆様が安心して生活できるようサポートいたします。

小さなお子様からご年配の方まで、幅広い世代の患者様に寄り添い、わかりやすい説明と丁寧な診療を心がけています。

「少し気になるから相談してみよう」と思っていただけの、地域にとって身近で頼れる耳鼻咽喉科を目指しています。

スタッフ一同、温かい雰囲気でお迎えし、健やかな暮らしのお手伝いをしてまいります。



滋賀県湖南市平松北3-73
TEL. 0748-76-1987

【診療科目】

耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科
アレルギー科

【休診日】

木曜日・偶数土曜日
日曜日・祝日



▲HPはこちら

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30~13:00	○	○	○	/	○	★	/
15:00~18:30	○	○	○	/	○	★	/

★偶数土曜日は休診になります。

病院理念

私たちは、済生会の「救療済生」の精神に基づき、安全で質の高い医療の提供と、心温まるサービスを実践し、地域の皆様の安心と幸せな未来へ貢献します。

かけはしNo.243 2026年1月

発行元 社会福祉法人 済生会滋賀県病院

〒520-3046 滋賀県栗東市大橋二丁目4番1号

TEL (077) 552-1221 (代) URL <https://www.saiseikai-shiga.jp/>